ちゃんと　かわら版　千歳

薪や焚火を中心とした催し「薪フェス2025」が9月6日、千歳市の駒そば亭（柏台南1）駐車場で開かれました。今回が初開催で、駒里地区の農家や住民を中心とした実行委員会が主催しています。同地区では薪ストーブを使用する家庭が多く、薪や焚火を通じて地域の魅力を発信しようと企画されました。

会場では薪窯で焼いたピザの販売をはじめ、飲料やスイーツ、手作りの小物、駒里産の野菜販売ブースが並びました。このほか、薪を使った移動式サウナ体験や薪割り体験、小さなカボチャをハロウィーン用に飾り付けるコーナーも用意され、訪れた親子連れも笑顔で楽しんでいました。札幌市からサウナを体験しに訪れた鴻上匠さんは「中は見た目よりも広く、熱源がすぐ近くにあるのでダイレクトに熱を感じられました。プライベート感があり、とてもゆっくりできました」と話していました。

イベントでは駒里地区の幼稚園児と小学生でつくるチアダンスユニット「駒里チアーズ」のパフォーマンスや、千歳市出身のタレントトークショーが行われました。さらに、車型の乗用おもちゃのプラズマカーレースや、駒里産の新鮮野菜が当たるビンゴ大会もあり、会場は大いに盛り上がりました。

実行委員長の小堀修一さんは「薪を使った体験を通じて、多くの方に駒里に興味を持ち魅力を知っていただきたい。この催しが駒里の風物詩になってくれれば」と語りました。

（編集　大谷）

防災パレード＆消防署見学

千歳青葉幼稚園の園児たちが9月1日の「防災の日」にあわせて、防災パレードと消防署見学を同日に行ないました。同行事は園児の防災の意識を高めるとともに地域住民に対しても防災意識の啓発を図るねらいで実施されています。

パレードは年長組、年中組、年少・ちゅーりっぷ組に分かれて実施され、年長組は「NORTHFEEL」（梅ケ丘1）から「千歳市消防本部　祝梅出張所」（流通3）までの距離を歩きました。保護者やパレードを見に来た地域住民が温かく見守るなか、園児たちは法被をまとい、カンカンと拍子木を打ち鳴らしながら「戸締り用心、火の用心」と大きな声を出しながら歩きました。

祝梅出張所に到着後は消防署を見学。隊員が仮眠室や待機室など署内施設の案内を終えると、次は人形を使った模擬救助訓練を実施。「慎重に運んでください」という隊員からの約束を守り、園児より二回りも大きい人形をみんなで持って、指定の位置まで優しく、慎重に運びました。

その後ははしご車の機能について隊員から説明。隊員が話した「車の前にある消防のマークを触ると幸運になれるかも！」と聞いた園児たちはマークをペタペタと触りました。最後は放水体験が行われ、ホースから勢いよく放たれた水に驚きながらも楽しそうに放水する様子が見られました。

年長キク組の新岡澪梨さん（6歳）は「パレードはたくさん大きな声をだしました。見学は全部楽しかったけど放水体験が一番楽しかったです」と元気いっぱいの笑顔で話しました。

（編集　佐々木）

地元企業2社が千歳市に寄付
奨学資金と町づくり支援

8月20日、産業廃棄物収集運搬事業や産業廃棄物処分事業などを手がける北海道衛生工業株式会社（恵庭市北柏木町3）の曙和義会長と岡村龍一代表取締役社長が千歳市役所を訪れ、青少年の奨学資金として千歳市に100万円を寄付しました。

同社は創業70周年を迎えた2023年に千歳支店（幸町1）を開設したのを機に、同年から奨学資金として毎年100万円の寄付を続けており、今回で累計300万円となりました。

曙会長は「来年以降も市の子どもたちのために寄付を続けていきたい」と話していました。横田市長は「このたびは寄付をいただき大変ありがたく思います。子どもたちのために、有効に活用させていただきます」と感謝を述べました。

また、25日には市内で建設業を営む中山建設株式会社（豊里2）の中山千太朗代表取締役社長が千歳市役所を訪れ、次世代半導体製造のラピダス（東京）進出などで変化する市の発展のために役立ててもらおうと、まちづくり資金として200万円を市に寄付しました。同社は1988年から奨学基金などの寄付を行っており、累計額は933万円に上ります。

中山社長は「今、多岐にわたって予算が必要な情勢だろうと思います。4月に先代の中山和朗会長が亡くなり、先代からお世話になっていた市への恩返しとして寄付させていただきました」と述べ、横田市長は「市内で活躍している代表的な企業から寄付をいただき、大変ありがたく思います」と話しました。

（編集　大谷）

恵庭市からのお知らせ

国勢調査がはじまります

9月20日から9月30日の間、「国勢調査員証」を身につけた調査員が、各世帯を訪問し調査書類を配付します。調査へのご協力をお願いいたします。

回答期間
- インターネット回答：配付直後から10月8日まで
- 郵送による回答：10月1日から10月8日まで

インターネット回答で、かんたん・便利に！

恵庭市では、市内6カ所（恵み野、島松、大町、柏陽、和光、福住）の「憩の家」で、日時を定めてインターネット回答を支援します。会場には回答用のタブレット端末を用意していますので、パソコンやスマートフォンをお持ちでない方でも、インターネットで回答できます。支援スタッフが会場でお手伝いしますので、ぜひインターネット回答をご利用ください。

※会場にお越しの際は、調査員が配布した調査書類を必ずお持ちください。

インターネット回答支援ブース会場と開設日時の詳細は、広報えにわ9月号の2ページに掲載されておりますのでご参照ください。

お問い合わせ　令和7年国勢調査恵庭市実施本部（恵庭市役所企画振興部企画課内）　電話 0123-33-3131（内線2344・2346）

北海道文教大学からのお知らせ　10月11日

子ども職業体験会
管理栄養士のシゴトを体験しよう！

小学生（3～6年生）向けに管理栄養士のシゴトを楽しく学べる体験会を開催します。小学生のみなさんに管理栄養士になりきってシゴトを体験していただきます。（要問合せ）

対象	小学3～6年生
とき	10月11日（土）10時～11時30分、13時～14時30分
ところ	北海道文教大学内実習室（恵庭市黄金中央5丁目196番地の1）
定員	10人（先着順）
参加料	無料
申込方法	メールでの申込。（研究室を不在にすることがあるため、問合せ・申込はメールでお願いします）
申込期限	10月8日（水）まで

問合せ申込　北海道文教大学健康栄養学科（佐々木）
メール　shota@t.do-bunkyodai.ac.jp